

第19回子育て保育のつどい開催にむけて

秋の気配も感じられるこの頃ですが、11月の集い開催へ向けて具体的な分科会の取り組みなどが始まりました。新しい実行委員も加わり、より一層充実したつどいになればと思っています。保育センターで講師の秋葉さんの著書『人に惚れて人になる 教育にロマンを持ちつづけて』（フォーラムA出版 1,200円）を販売しておりますので、ご希望の方はお知らせください。各園でも購入できます。

- ◆分科会1「保育情勢」（保育センター保育運動部）
刻々と変わりつつある保育情勢をみんなで学びましょう
- ◆分科会2「保育実践交流会」（保育問題研究会）
保育内容「子どもの絵」、園での子育て支援の状況など交流します
- ◆分科会3「保護者交流会」★定員40名（各園保護者会）
厳しい労働条件でなかなか時間がとれませんが保護者同士交流しましょう
- ◆分科会4「日本と世界の平和な未来のために」★定員45名（保育9条の会）
長崎被爆者の体験談やオバマ大統領の演説から平和についてみんなで考えよう
- ◆分科会5「手作りおもちゃ」★要材料費（保育センターちいさいなかま部）
軍手を材料にくまさんを、布を材料ににぎにぎを作ってあそびます
- ◆分科会6「メディアとこども」★定員30名（保育センター学習部）
テレビのない生活ってどんなかな？ ちょっと考えてみませんか？

子育て保育のつどい実行委員会開催
九月九日(水)、午後七時より福岡県保育センターにて、『福岡県保育のつどい』第二回実行委員会が、開催されました。今年の要領・組織について話し合いました。また、分科会についてもそれぞれ担当の分科会について進捗状況の報告などを行い、また、講師の秋葉英則先生の本の抜粋の読み合わせを行いました。

FAX (092) 711-6246
西日本新聞報道センター福祉取材班
投稿先

保育の市場化、広がる懸念
9月9日の西日本新聞に「保育の市場化、広がる懸念」という記事が掲載されました。厚生労働省の社会保障審議会少子化対策特別部会が今年2月にまとめた第一次報告に関する記事で、意見を広くFAXで募集しています。記事を読まれた方は、FAXにご意見を。

9月29日19時からちいさいなかま部会では分科会に向けて手作りおもちゃを試作します。参加希望の方は裁縫道具持参の上お越しください。事前に保育センターにお知らせ頂ければ材料を用意します。

つどいの意義

- ①子育てや保育・教育にかかわる多くの人たちで学習・交流を深める
- ②保育の市場化、公的保育を後退させようとする情勢に立ち向かえる知恵と力をつける
- ③子どもの権利条約採択20周年・批准15周年のいま
☆主催は保育センターとつどい実行委員会。
実行委員の構成は、子育て・保育に関心を持つ団体・個人からなる
☆誰でもが気楽に参加できる、市民フォーラムの要素を持つ

次回の準備委員会は10月5日(月) 19:00～

福岡県子育て保育のつどい

日時：2009年11月23日(祝) 09:50～15:30
場所：福岡市早良市民センター（福岡市早良区百道2-2-1）
※駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください。
参加費：2,000円（センター個人会員 1,500円 学生 1,000円）
保育：1歳～ 費用等は未定
弁当：販売しません。
講演：秋葉英則氏（大阪健康福祉短期大学学長、元大阪教育大学副学長）
連絡先：福岡県保育センター【Tel 092-761-5234 Fax 092-781-1995】